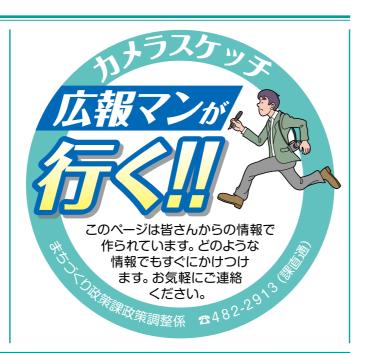
全国コンクールで銅賞受賞 日専連版画コンクールで川小児童が快挙



第32回日専連全国児童版画 コンクール(協同組合連合会日 専連主催)で、川湯小学校(上中 義人校長) から出品した児童が 入賞しました。

入賞したのは、6年生の杉山 小夏さん。コンクールは全国の 小学生を対象に毎年行われて

いて、今年は515校から3万17点の応募がありました。杉山さ んは「思い出に残った場所と自分」をテーマに、学芸会の思い 出として太鼓と自分を描いた作品を制作し、見事銅賞を受賞 しました。杉山さんは「入賞できてうれしい。太鼓に反射する 光の表現と、背景を頑張った」と話していました。



2月9日

パークボランティアとして自然保護に尽力 金井さんに自然公園関係功労者環境大臣表彰



式は2月9日、町公民館講

堂で行われ、同公園管理事務所の和田光央管理官から、金井さ んに表彰状が手渡されました。

金井さんは、平成18年からパークボランティアとして活動。 自然解説などの指導や、カワユエンレイソウの保護、外来植物 の駆除など、同公園の保護や自然保護思想の普及啓発に尽力 された業績が認められ、今回の表彰となったものです。

2月9日

令和4年度玉川大学

森や川での研究成果を報告 玉川大学との共同研究成果報告会



との共同研究成果報告 会が2月9日、町公民館 講堂で行われ、吉備津副 町長、岩原教育長ら、関

町は平成21年度から玉川大学との共同研究を開始。平成27 年度からは包括連携協定を締結し、相互協力の下で毎年調査 を実施しています。今年度は3年ぶりに対面形式で報告会が 実施され、11人が発表を行いました。参加者は町の天然記念 物マリゴケの分布環境や、屈斜路湖に生息するウチダザリガ この駆除効率の研究などについての報告に、熱心に耳を傾け ていました。

3月3日

地域の役に立ちたい 村井建設(株)の皆さんが地域貢献



を行いました。

れたもので、17人が参加。皆さんは火ばさみとゴミ袋を手 に、雪の残る中丁寧にゴミを拾い集めました。

2月22日

税をテーマとしたポスターを作成 小坂さんが道教育委員会教育長賞|川湯中



委員会教育長賞に入選しました。伝達式は2月22日、同校で 行われ、釧路総合振興局瀬戸辰也課税課長から表彰状が手 渡されました。同募集は、暮らしの中で生かされている「税」 について関心を持ち、理解を深めてもらうために毎年行わ れています。今年度は、全道100校から2,481点の応募があり ました。小坂さんは「道税で未来を造る守る生きる」と題し、 北海道の美しい景色などを描き、同賞を受賞しました。

冬ならではの楽しみを

13th 極寒芸術祭 2023 Teshikaga 森のスノーパーク



センターパ 念制作として園児が素焼きのカッ また、2月25日には、エコツ 屈口

ズム推進部会(藤原仁部会長)が「森 やアウト スライド イを実施。スタ 周辺で開催。歩くスキ を川湯ビジタ で のたき 冬な

日笠保さんを講 /を開催。

´ ラブ

師に迎え親子で作品を制作

月はア

ーティスト

クショッ

に芸術体験ワ 木幸榮園長) でぞう組の園児を対象 り組みに合わせ、 認定こども園ましゅう(鈴

3日まで開催。野外美術館での世界 われました。この取トによる演劇パフールにて26日まで 作家による作品 極寒芸術伝 から3

野外美術館には多くの作品が

CloseUp Topics

1月17日と2月15

地域の伝えたい味を学ぶ

イモ団子教室|弟子屈中学校



は、当町出身の詩人・更科源蔵の

からイモ団子

が食

食

方などを

7

町支え合い推進員の藤原直美さん

組んで ながら、

どの作業も

よかった」「自分た

完成したイモ団子を食べた後の活

の振り返り

生徒たち

か

モ団 たの

子の歴史

で学べて

町の話題

生徒たちは6つ

O

班に分か

7を教えて

ジャガイモの厚さを確認

年生25人がイモ団子の 瀬部会長や地域おこし協力隊の嶋さ んらもお手 1陽子さん、 で子さん、 当日は、 水町長)食文化部会の木名)かがえこまち推進協議会 辻八重子さんを講師に、深谷惠美子さん、千 町に長く住む金子ひ に参加し、 同校の した。 方や町に

きたイモ団子の伝統の めて実施され 道徳と家庭科の合 たも 0 ら食べて 皆さん 0

31 広報てしかが 2023.4

広報てしかが 2023.4 30